

# → 平成26年度 信言小州 才大造 臺 " 実務編" v 2

木造建築とその周辺技術を学び、考える場として続けてきた「信州木造塾」は、今回で通算 12 回目となります。

昨年は、木構造を中心とした「信州木造塾"実務編"」としたところ、多くの方の参加を得て、大好評のうちに終えることができました。 木造設計における構造計画の重要性を認識し、系統的に学ぶ機会を求めている設計者が少なくないことを、改めて実感致しました。そこ で、今年も「信州木造塾"実務編"v.2」を開講することといたします。内容は昨年とほぼ同じとはいえ、更にバージョンアップしていま すので、新規、再聴講に拘わらず、沢山の皆様にご参加頂きたく、ご案内いたします。

建築の三大要素の「用・強・美」はいずれも欠かすことはできません。このうち「強」(構造)の安全性を求める建築主のニーズは、構 造偽装問題や311大震災等を経て、ますます高まっています。設計者は木構造の一貫した知識、技術を持ったうえで、根拠を持って設計 することを求められる時代になってきているのです。

しかし、木構造については教育機関を含め系統的に学べる場は殆どありません。「自ら手探りで身につけてきた知識、技術は、根拠や理 論の面でいささか不安」と感じている方はいらっしゃいませんか?これを補う機会、それが木造塾です。

カリキュラムは、実際の設計に直接活かすことを主眼に、計画原論から構造部位毎の解説と応用の仕方、伏図の作成にいたるまで、実習 や実験をまじえて計 10 講座とし、内容、回数とも他には無い信州木造塾ならではの、充実したプログラムを用意できたと思っています。 また、講師陣は木構造第一人者の山辺豊彦先生、伝統技術を活かした「板倉構法」等でおなじみの安藤邦廣先生、伏図作成は村上淳史先 生、そして公開講座には三澤文子先生をお迎え致します。中でも 7 回にわたる山辺先生の講義は、滅多に無い貴重な機会です。この機会 に「信州木造塾"実務編" v.2」を受講し、木構造の計画、設計を学び直しましょう。入塾の申し込みを心よりお待ちしております。

場:長野県総合教育センター(塩尻市大字片丘南唐沢 6342-4)、長野県林業総合センター(塩尻市大字片丘 5739)

塩尻市総合文化センター(塩尻市大門七番町4-3)、 メルパルク長野(長野市鶴賀高畑 752-8)

募集対象:木造建築に関心を持っている方 **募集人員**:80名 ※代理受講は認められません。 受講料:33,000円 ただし、建築士会会員は 22,000円 交流宿泊料:10,000円(交流会のみの参加は 6,000円)

テキスト:ヤマベの木構造 改訂版 会場にて販売します。 修 了 証:全講座に出席した受講者に交付します。

**催**:一般社団法人 長野県建築士会(電話 026-235-0561)

援:長野県・長野県木材協同組合連合会・信州木材認証製品センター

講座内容

	月 I	8	時限	内	容	講	É	币	
9	/	3 (水)	13:00~13:30	開 講 式					
会場	: 長野県 センタ	総合教育	13:35~17:00	1.木造建築の被害と基準の 2.木構造の構造計画の要点 3.木材の性質	变遷	(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	豊彦
	•	<b>4</b> (木) 総合文化 一	13:30~16:00	公開講座≪信州木の家マイス 講座とのタイアップ企画≫ 講演:建築における木材利用		Ms建築設計事務所	i 主 宰	三澤	文子
		<b>6</b> (火)   総合教育	13:00~17:00	<ul><li>4.地盤調査方法の特徴</li><li>5.スウェーデン式サウンデ 読み方</li><li>6.基礎形状の検討</li></ul>	ィング試験データの	(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	意
		<b>1</b> (水)	13:00~17:00	7.仕口のせん断試験(鉛直) 梁の曲げ試験(欠損の影 ヘルメット持着	響)	(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	豊彦
	センタ		19:00~	宿泊(アスティかたおか)	交流会				
	·	<b>2</b> (木) 総合教育 一	9:00~12:30	8.横架材の設計に係わる試	験の結果と活用方法	(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	豊彦
		<b>15</b> (水) ポルク長野	13:00~17:00	9.柱の役割と断面設計 10.梁の役割と断面設計演習 11.仕口の鉛直支持性能に対 12.耐風設計	する設計	(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	豊彦
		<b>30</b> (木) パルク長野	13:00~17:00	13.伏図・軸組図の作成(意匠 カットを含む)	ごと構造の整合性+プレ	(一社)木造住宅デザ	イン研究会コ 代 表 理 事		
		<b>2</b> (水) パルク長野	13:00~17:00	14.耐力壁の役割と特徴 15.壁量計算・四分割法の演 16.N値計算演習と引抜に対		(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	豊彦
		<b>!6</b> (水)	13:00~16:00	講演:板倉の家づくりと震災	の復興	筑波大学名誉教授•工 里山建築研究所		安藤	邦廣
		<b>9</b> (火)	13:00~17:00	17.水平構面の役割と特徴 18.地震力に対する水平構面 19.風圧力に対する水平構面 閉 講 式		(有)山辺構造設計事	務所 代表取締役	山辺	豊彦

# 講師陣のプロフィール

#### 山辺豊彦氏

(有)山辺構造設計事務所 代表取締役



1946年 石川県生まれ

1969年 法政大学工学部建設工学科

建築専攻卒業

1969年 青木繁研究室 入所

1978年 山辺構造設計事務所 設立 1982年 (有)山辺構造設計事務所 設立

≪受賞≫

1997年 第7回RM賞 大森東1丁目団地

1999年 JSCA賞 佳作賞

木材を活用した学校施設の構造 設計(つくば市立東小学校)

1999年 BCS賞 棚倉町立社川小学校 ≪所属団体≫

(一社)日本建築構造技術者協会

企画会務委員長

NPO緑の列島ネットワーク 理事

#### 安藤邦廣氏

筑波大学名誉教授•工学博士•里山建築研究所 主宰



1948年 宮城県生まれ

1973年 九州芸術工科大学芸術工学部 環境設計学科卒業

1973 年7月~1982年11月

東京大学工学部助手

1982 年 12月 筑波大学芸術学系講師

1998 年 4 月 筑波大学芸術学系教授

2013年より現職

≪受賞≫

2011年 日本建築学会賞(論文)

2013年 グッドデザイン賞

2014年 日本造園学会賞(技術賞)

2014年 日本建築仕上学会賞(作品賞)

≪所属団体≫

NPO 木の建築フォラム 代表理事

(一社)日本茅葺き文化協会 代表理事

# 村上 淳史 氏

(一社)木造住宅デザイン研究会ユア・ホーム 代表理事



1971年 東京都生まれ

1996年 早稲田大学大学院理工学部

建設工学科建設専攻卒業

1996年 住友林業株式会社 入社

1999年 株式会社マルダイ 入社 2002年(㈱村上木材店 入社

2009年 村上木構造デザイン室 設立 2010年 木造住宅デザイン研究会

ユア・ホーム 設立

2011年 一般社団法人化

≪所属団体≫

NPO木の建築フォラム 理事

東京建築士会

東京広葉樹協会 理事

東京材商青年協議会

# 三澤文子氏

Ms 建築設計事務所 主宰



1956年 静岡県生まれ

1979年 奈良女子大学物理学科卒業

1980年 大阪工業技術専門学校

建築学科卒業

1980年 高木滋生建築設計事務所

1982年 現代計画研究所

1985年 夫・三澤康彦氏とともに

Ms建築設計事務所を設立 1991年 大阪技術大学非常勤講師

(~1999年)

1996年 木構造住宅研究所共同設立

2001年 岐阜県立森林文化アカデミー教授

2009年 岐阜県立森林文化アカデミー

客員教授

2011年 京都造形芸術大学通信大学院教授

≪所属団体≫

(一社) ウッドマイルズフォーラム副会長

(一社) 住宅医協会理事

NPO法人 WOOD AC 理事

**申込方法**: 受講申込書に記入のうえ、受講料と交流宿泊料を添えて 長野県建築士会本会事務局又は各地の建築士会事務所へお申込下さい。 (締切:8月8日(金)) なお、途中で受講を中止されても受講料はお返ししません。(講義資料は、後日、送付します。)

間合せ先:長野県建築士会本会事務局又は各地の建築士会事務所へ(〒380-0872 長野市大字南長野字宮東 426-1 電話 026-235-0561)

### テキスト「ヤマベの木構造 改訂版」を講習会場にて、割引価格 3,500 円(税込)( 定価 4,104 円(税込))で販売します。

■目次

O1 入門編 ゼロからはじめる木構造

O4 資料編 関連資料・データー覧

02 基本編 押さえておきたい基礎知識 03 実践編 いますぐ使える設計手法

○ 木構造の基礎知識

○ 地盤・基礎 ○ 軸組 ○ 耐力壁 ○ 水平構面 ○ 接合部

○ 地盤・基礎 ○ 軸組 ○ 耐力壁 ○ 水平構面 ○ 設計事例

一般社団法人 長野県建築士会 (FAX:026-232-2588)

#### 「信州木浩熟」受講由込書

				•	平成	26年 月 日提出
ふり 氏	<sup>がな</sup> 名	会員 ・会員( 区分 ・非会員	支部)年 代	20 40 60 30 50 70	-	男・女
住	所	〒		電話番号	(	)
勤 務 先	名 称			職種		
	所在地	〒		電話番号	(	)
交流宿泊の有無		する・ しない 交流会のみ参加 する・ しない	テキスト	· 不要 受付	支部	支部(No. )

それ以外の目的には使用しません。